

学校だより



梅の蕾がほころぶ季節となりました。地域の皆様、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

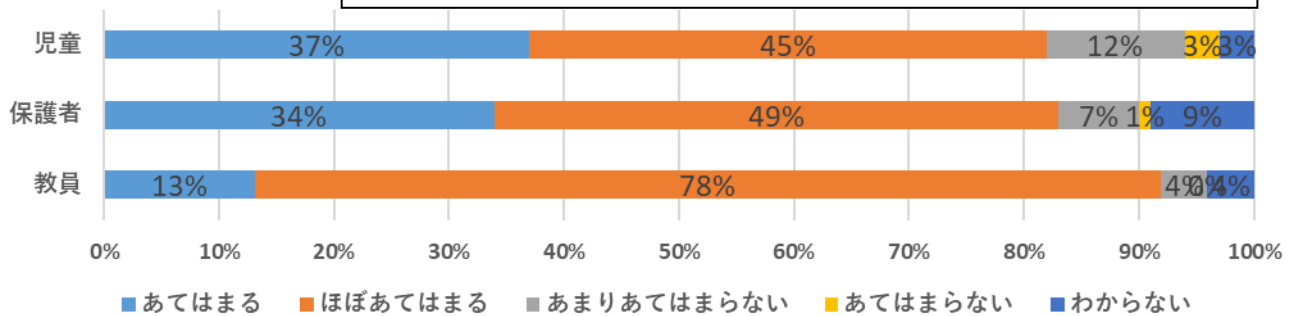
さて、本年度の教育活動につきまして、保護者の皆様にアンケートの御協力をお願いしましたところ、多くの回答をいただきました。誠にありがとうございました。

集計がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を次年度の教育計画に生かしてまいります。これからも、よろしく願い申し上げます。

令和5年12月実施 <回答数> (児童) 394名 (保護者) 270名 (教員) 23名

1. 授業の工夫

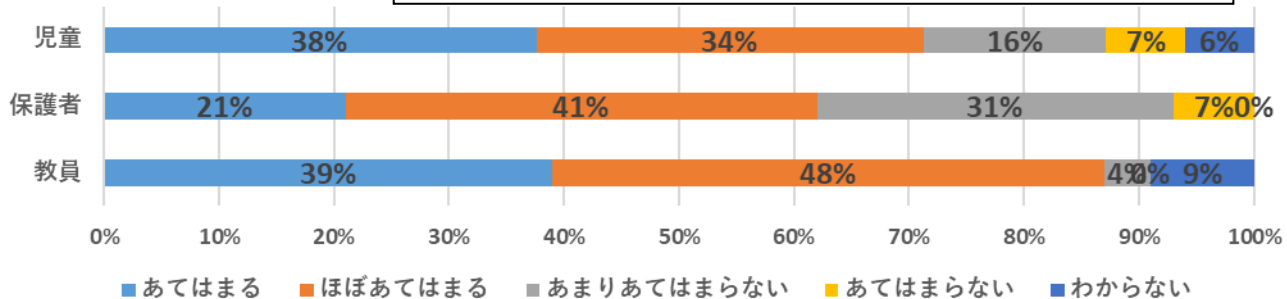
(児童) 学校の授業は分かりやすく楽しい。
(保護者) 学校公開の授業は、分かりやすく工夫されていましたか。
(教員) 児童が主体的に学ぶ分かりやすい授業を行っている。



児童の82%は、「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えています。また、保護者の83%は、「学校公開の授業は分かりやすく工夫されていますか。」という問いに肯定的です。教員の91%は、「児童が主体的に学ぶ分かりやすい授業を行っている。」と答えています。今後も、児童が主体的に学び、分かる喜びのある授業を行っていきます。また、学校公開や様々な教育活動等で、児童が主体的に学ぶ姿を参観していただきます。

2. 学習への取組

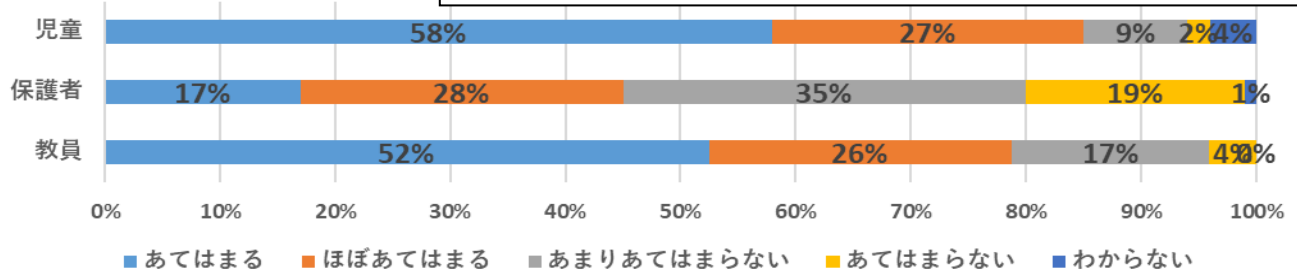
(児童) 家庭学習を進んでしている。
(保護者) お子さんは、家庭学習を進んでしていますか。
(教員) 家庭学習に日常的に取り組ませ、学力向上に努めている。



児童の72%が、「家庭学習を進んでしている。」と答えています。23%の児童は否定的です。また、保護者も、38%が否定的な回答です。教員の87%は、「家庭学習に日常的に取り組ませ、学力向上に努めている。」と答えています。宿題という受け身になりがちですが、児童が進んで家庭学習に取り組めるように、学年に応じて内容や出し方を工夫していきます。ご家庭の協力も必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

3. ICTを活用した学習

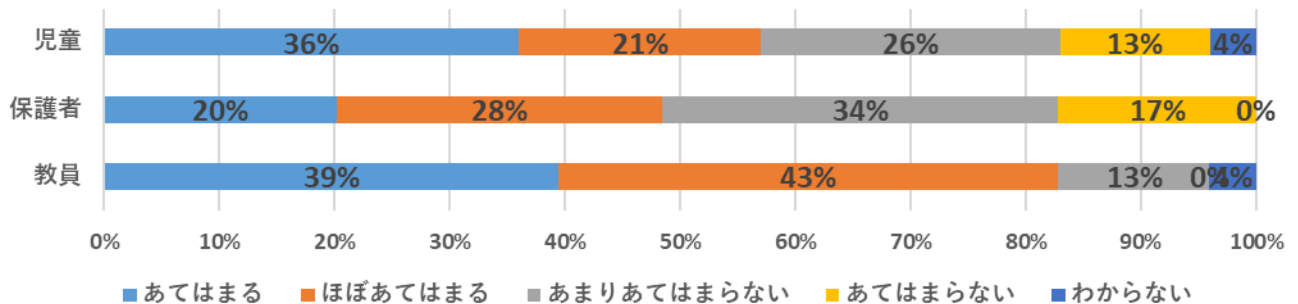
(児童) タブレットや電子黒板を使った学習は、分かりやすく楽しい。
 (保護者) お子さんは、タブレットを使った学習を行っていますか。
 (教員) タブレットや電子黒板など ICT を活用した授業を行っている。



児童の 85%が、タブレットや電子黒板を活用した授業を分かりやすく楽しいと答えています。教員も 78%が「タブレットや電子黒板など ICT を使った学習を行っている。」と答えています。一方で、保護者の 54%は、「お子さんは、タブレットを使った学習を行っていますか。」という問いに否定的な回答で、家庭学習ではあまり活用されていないことが分かります。そこで、今後は、タブレットや電子黒板などを授業で日常的に使っていくとともに、家庭学習においてもタブレットを使ってできる学習を取り入れていきます。

4. 読書教育

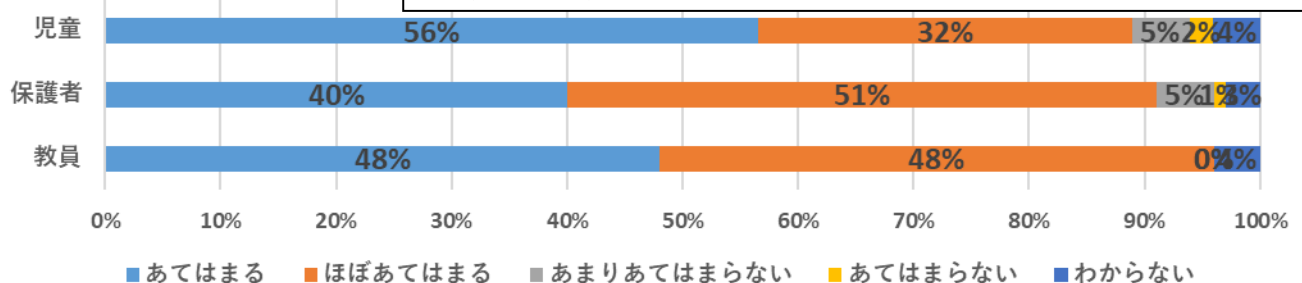
(児童) 家や学校で進んで読書をしている。
 (保護者) お子さんは、家庭で読書をしていますか。
 (教員) 読書月間や授業、朝の時間など児童が進んで読書をするように指導している。



教員の 82%は、「児童が進んで読書をするように指導している。」と答えています。しかし、児童の約 40%が「家や学校で進んで読書をしている。」という問いに否定的です。また、保護者の 51%が「お子さんは、家庭で読書をしていますか。」という問いに否定的です。このことから、特に家庭での読書離れの傾向があると思われます。今後は、朝の全校読書タイムを活用するとともに、親子読書を推奨するなど家庭での読書時間を増やす取り組みをしていきます。また、図書ボランティアや光が丘図書館と連携した読み聞かせやブックトークなどの教育活動を推進し、読書に親しむ児童を育てていきます。ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

5. 友達とのかかわり

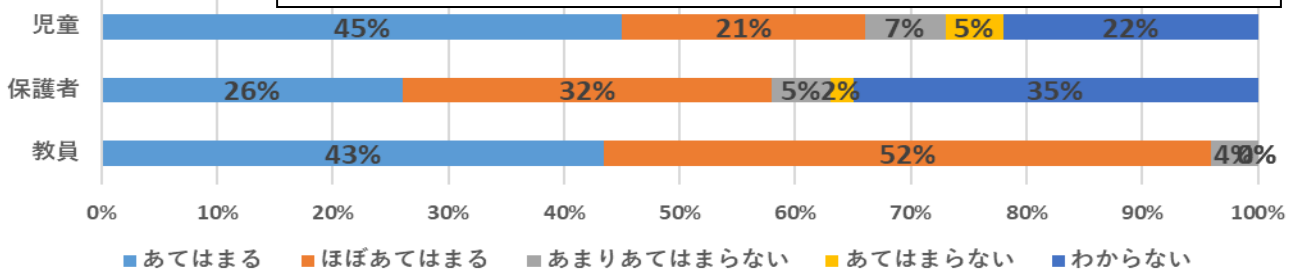
(児童) 友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしている。
 (保護者) お子さんは、友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしていますか。
 (教員) 道徳の授業や学級活動、行事を通して、児童に思いやりの心を育てている。



「友達と仲良くすること」は、児童 88%、保護者 91%、教員 96%と、共に肯定的な回答が多いです。学校生活では、いじめや仲間外れなどのない温かい友達関係が何よりも大切です。今後も、兄弟班や行事等で異年齢交流を行ったり、道徳の授業や学級会活動などを充実させたりして、児童に思いやりの心を育てていきます。また、いじめの早期発見・早期対応に努め、友達と温かい関係が築ける学級づくりを大切に、家庭や地域と連携して児童一人一人を見守っていきます。

6. 相談体制

(児童) 学校の先生や相談室の先生は、困ったときに相談にのってくれる。
 (保護者) 教員やスクールカウンセラーは、困ったときに相談にのってくれますか。
 (教員) いじめや不登校などの生活指導上の問題に、適切に対応している。

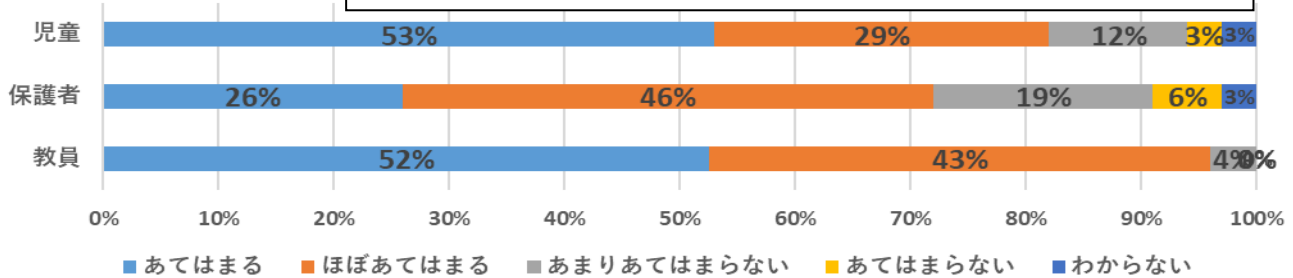


「学校の先生や相談室の先生は、困ったときに相談にのってくれる。」と答えた児童は66%、否定的な回答は、12%です。「教員やスクールカウンセラーは、困ったときに相談にのってくれますか。」という問いに肯定的な保護者は58%で、否定的な回答は7%、「わからない」と答えた方が35%でした。また、教員は95%が、「いじめや不登校などの生活指導上の問題に、適切に対応している。」と答えています。

今後も、相談室の相談体制について児童や保護者の方に周知し、相談しやすく工夫していきます。また、「話を聞いてくれない。」と感じる児童や保護者が「0」になるように、担任だけでなく、教職員の誰にでも児童や保護者の方が相談しやすい雰囲気を作っていきます。

7. あいさつ

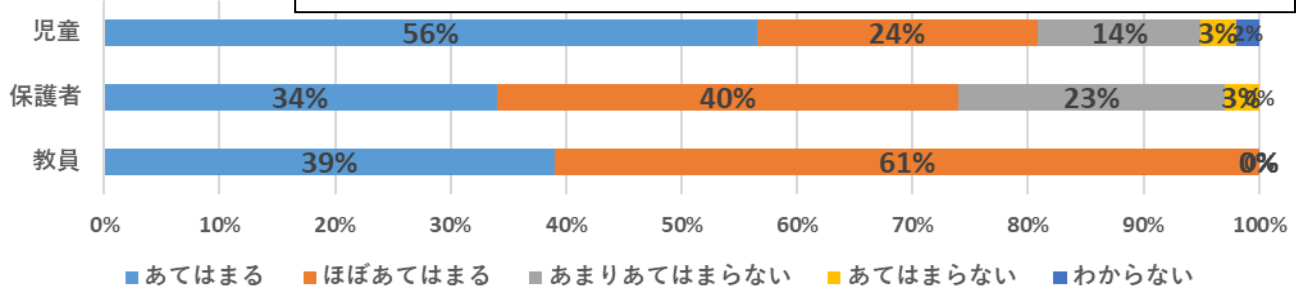
(児童) 学校や地域で進んであいさつをしている。
 (保護者) お子さんは、家庭や地域で進んであいさつをしていますか。
 (教員) 児童が学校や地域で進んであいさつをするように指導している。



児童の82%は、「進んであいさつをしている。」と答えています。教員の95%は、「進んであいさつをするように指導している。」と答えています。これは、全校体制であいさつ指導に取り組んでいる成果が児童と教員の意識に表れていると言えます。一方で、保護者の方の25%は、「お子さんは、家庭や地域で進んであいさつをしていますか。」という問いに否定的です。学校だけでなく地域や家庭でも進んであいさつができるように、日常的にあいさつを奨励していただくとよいと思います。学校では、全校体制のあいさつ指導だけでなく、代表委員会など児童が主体となって「あいさつ運動」に取り組み、あいさつの響き合う学校を目指していきます。

8. 体力向上

(児童) 進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている。
 (保護者) お子さんは、家庭で外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしていますか。
 (教員) 感染予防、外遊び、体育など、児童の健康と体力向上に努めている。

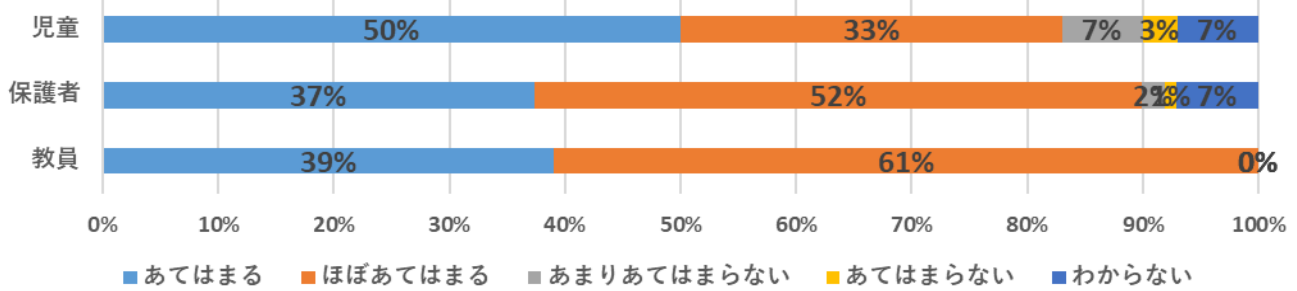


児童の80%は、「進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている。」と答えています。保護者は、「お子さんは、家庭で外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしていますか。」という問いに、74%が肯定的で、26%が否定的な回答です。教員は、100%が「感染予防、外遊び、体育など、児童の健康と体力向上に努めている。」と答えています。学校では運動していても、家庭では進んで運動する児童と運動しない児童との二極化が考えられます。

学校では、今後も、体育の授業を中心に児童に運動の楽しさを味わわせます。また、縄跳び月間・持久走月間など全校で取組んだり、外遊びを奨励して運動量を増やしたりして、体力の向上を図っていきます。

9. 安全指導

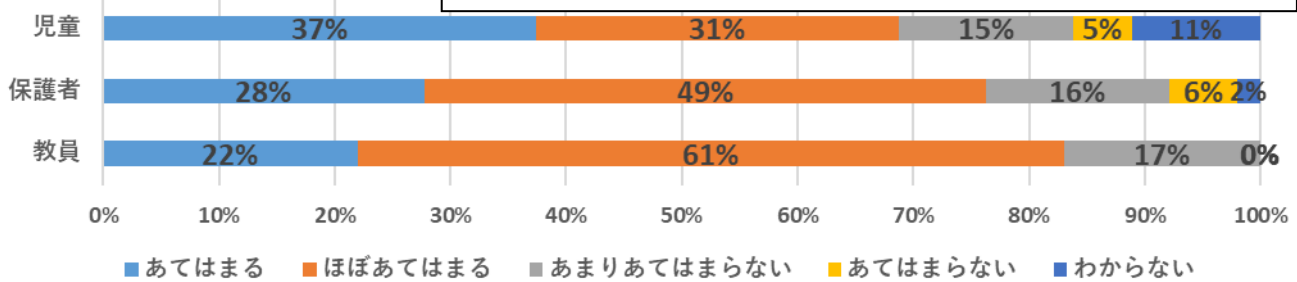
(児童) 学校や家庭・地域で、自分や周りの人の安全に気を付けて生活している。
 (保護者) 学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通して事故防止に努めている。
 (教員) セーフティ教室や安全指導を通して、児童が安全安心な生活を送れるように努めている。



児童の83%は「自分や周りの人の安全に気を付けて生活している」と答えています。保護者の89%は、「学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通じて、事故防止に努めている」という問いに肯定的です。また、教員は、100%が「セーフティ教室や安全指導を通して、児童が安全安心な生活を送れるように努めている。」と答えています。今年度もセーフティ教室を行い、たくさんの保護者の方に観ていただき、その成果が表れていると言えます。今後も、交通安全教室やセーフティ教室等地域や家庭と連携した安全教育を積極的に行い、児童自身が自分や周りの人の安全を守れるように、日頃から指導していきます。

10. 地域とのかかわり

(児) 地域の学習や活動を通して、地域のよさを知ったり好きになったりした。
 (保) お子さんは、地域の学習や地域行事に楽しく参加していますか。
 (教) 地域の学習や活動を通して、児童が地域について知り、地域に親しむように努めている。

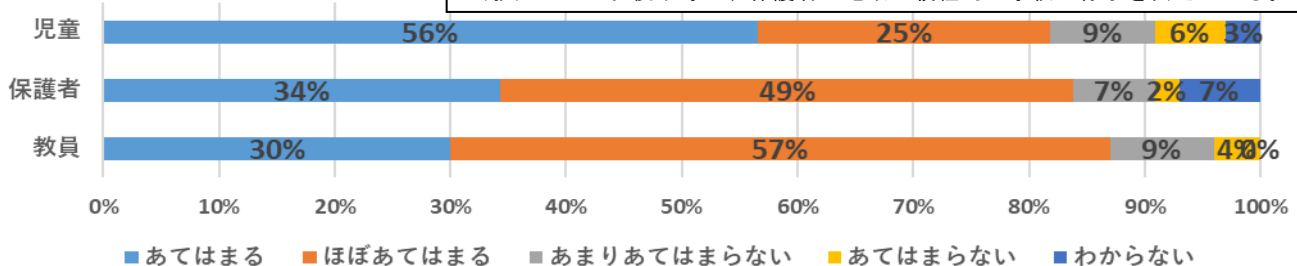


児童は、「地域の学習や活動を通して、地域のよさを知ったり好きになったりした。」に肯定的な回答が68%、否定的な回答は20%と、昨年度とほぼ同じです。保護者は、「お子さんは、地域の学習や地域行事に楽しく参加していますか。」に肯定的な回答が77%と昨年度より11%増えています。これは、コロナが5類になり地域の行事が復活したり、授業で積極的に地域に足を運んだりした成果が表れていると言えます。

学校では、今後も地域学習を通して、地域への興味や関心を育て、地域の一員として地域を愛する児童を育てていきます。ご家庭でも、親子で地域の行事に積極的に参加されるとよいと思います。

11. 教育活動の発信

(児) 学校のことなど、家族と話している。
 (保) 学校は、HPや学校だより等で、保護者や地域に積極的に情報を発信していますか。
 (教) HPやお便り等で、保護者や地域に積極的に学校の様子を伝えている。



児童の81%は、「学校のことなど、家族と話している。」と答えています。また、保護者の83%は、「学校は、HPや学校だより等で保護者や地域に積極的に情報を発信していますか。」という問いに肯定的で、昨年度より5%ほど増えています。また、教員は、87%が「HPやお便り等で、保護者や地域に積極的に学校の様子を伝えている。」と答えています。今後も、HPや学校だより・新しい伝達システム「sigfy」などで、教育活動や児童の様子などを積極的に発信します。また、学校公開や保護者会等を通じて、直接ご説明していきます。